Unit 02 利派

利潤最大の生産量

利潤最大の生産量は、**限界費用=限界収入**として求められます。まず、限界収入は価格と等しくなることから計算する必要はありません。 しかし、限界費用は総費用から微分する計算を行うことになります。

考え方

微分のルール

Unit - 06 では、もう 1 個多く作るのにかかる費用として「限界費用」を紹介してきましたが、それを求める「**微分**」の計算は少し特殊なルールがあり、覚えて練習しておく必要があります。

POINT

Xⁿを微分する場合、次のような計算ルールに従います。

$$X^n = \bigvee_{\mathbf{vep}}^{\mathbf{ntip}}$$
 \leftarrow ①肩の数字を前の数字にかけ算します。 $\bigvee_{\mathbf{vep}}$ $X^n = n \ X^{n-1} \leftarrow$ ②肩の数字から1をひき算します。

数式だけ見ると単純作業だとわかります。いくつか練習をして、身に付けましょう。

なるほど、簡 単にできそう な感じです!



Aさん

問題-1

12X³ を微分しましょう。

$$12X^3 \rightarrow 12 \times 3 \times X^{3-1} = 36X^2$$

- ①肩の数字が3なので、3を前の数字12にかけ 算します。
- ②肩の数字3から1をひき算します。 答えは、36X 2 になります。

問題-2

 $2X^2$ を微分しましょう。

 $2X^2 \rightarrow 2 \times 2 \times X^{2-1} = 4X$

- ①肩の数字が2なので、2を前の数字2にかけ算します。
- ②肩の数字 2 から 1 をひき算します。肩の数字 1 は省略します。 答えは、 4 X になります。

問題-3

8Xを微分しましょう。

 $8X \rightarrow 8 \times 1 \times X^{1-1} = 8 \times 1 = 8$

- ① 8 X は肩の数字 1 が省略されています。肩の数字 1 を前の数字 8 にかけ算します。
- ②肩の数字1から1をひき算します。肩の数字0になりますが、 $\mathbf{X}^{\mathbf{0}} = \mathbf{1}$ になることから、 $8 \times 1 = 8$ になります。

答えは、8になります。

問題-4

3を微分しましょう。

$$3X^0 \rightarrow 3 \times 0 \times X^{0-1} = 0$$

①3は肩の数字がないので、無理矢理に肩の数字を作ります。

 $X^0 = 1$ $\angle X^0 = 1$ $\angle X^0$

肩の数字0を前の数字3にかけ算します。ゼロに何をかけ算しても0になります。

答えは、0になります。

高校時代にやったような気が… 思い出したような…



Αさん

もう解説なし でも大丈夫。



問題-5

 $2X^3 - 3X^2 + 6X + 11$ を微分しましょう。

答え
$$6X^2 - 6X + 6$$

確認問題

競争市場において、おにぎりを生産する企業の総費用が次のように示され、おにぎりの価格が 100 円である場合、利潤が最大になる生産量はいくつになりますか。

総費用=
$$Y^3 - 9Y^2 + 52Y$$

1. 2 2. 4 3. 6 4. 8

(地方上級 改題)

利潤最大の生産量は、限界費用=限界収入の方程式を作ることになります。限界収入=価格は100円としてすでに与えられていますが、限界費用は総費用を微分して求めることになります。

手順一1

総費用から限界費用を求めます。以下のような微分の作業を行っていきます。

限界費用=
$$1 \times 3 \times Y^{3-2} - 9 \times 2 \times Y^{2-1} + 52 \times 1 \times Y^{1-1}$$

= $3 Y^2 - 18Y + 52$

手順-2

→ 解

利潤最大の生産量は、限界費用=限界収入(価格)になることから、方程式を作ります。

$$3Y^2 - 18Y + 52 = 100$$
 ←限界費用=限界収入とします $3Y^2 - 18Y + 48 = 0$ ←右辺を 0 にします $Y^2 - 6Y + 16 = 0$ ←両辺を 3 で割り算して整理 $(Y+2)(Y-8) = 0$ ← 2 次方程式を解きます $Y = -2$ 、 8

手順一3

生産量がマイナスになることはないので-2は不可。 したがって、8個が利潤最大の生産量になります。